

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	温暖化・里山対策室
職	室長
氏名	道下 博之

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
<p>地球温暖化問題は地球規模の課題であると同時に、県民一人ひとりの暮らしと密接に関連している身近な課題でもあることから、県民、事業者、行政(国、県、市町)が一体となり、温室効果ガスの排出抑制に向けた取組を強化し、県内全域に普及していく必要がある。</p> <p>また、人の手が加わることにより、生きものにやさしい自然環境が維持されるという里山里海の本来の特性を踏まえ、県民、企業、NPOなどの多様な主体の参画による里山里海づくりの推進を通じ、多様な生きものが生息・生育する、いのちにあふれた里山里海を未来に継承し、人と自然が共生する持続可能な社会の構築を目指す。</p>	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>				
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>				
<p>①県民、事業者、行政等のあらゆる主体が、地球温暖化防止に向けた具体的な行動に取り組む。</p> <p>②地域住民や行政だけでなく、都市住民やNPO、企業など、多様な主体が里山里海づくりに参画するとともに、県民が、本県の多彩な自然を活かした体験等を通じて、生物多様性の重要性に関する理解を深める。</p>					
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①温室効果ガス排出量増減率(H25比)	▲0.8%	H29年度	▲30%	R12年度	石川県環境総合計画
②いしかわ版里山づくりISO認証団体数	311団体	R元年度	400団体	R7年度	石川県環境総合計画



<b>令和2年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
①県民、事業者等による温室効果ガスの排出抑制	<p>①家庭や地域、学校での省エネ・省資源の取り組みの推進(いしかわ版環境ISOの普及、エコチケット事業など)</p> <p>②住宅の省エネ化の推進(エコ住宅アドバイザーの認定など)</p> <p>③企業エコ化の促進(事業者版環境ISO、エコデザイン賞、エコドライブ推進事業所の認定など)</p>
②地域の特性に応じた自然環境と生物多様性の保全	<p>企業、NPO等の多様な主体の参画を促進するため、県が里山保全活動等を認証し、活動を支援するとともに、生物多様性に関する理解を進めるため、学校教育等での里山学習や里山里海をテーマとしたイベント等による普及啓発を進める。</p>